

奈良県勢の 振興計画策定経緯

本県における総合開発計画は、戦後、農業用水の確保を主とした十津川・紀の川（吉野川）総合開発計画に始まり、その実施途上、国土総合開発法による特定地域として吉野熊野が指定され、熊野川（現新宮川）水系の発電と森林資源開発を主とした吉野熊野特定地域総合開発計画が策定されました。これにより昭和31年度を初年度とし、電源開発、林産資源開発、農産資源開発、国土保全事業、交通条件整備事業等が実施されてきました。

昭和38年には、奈良県新総合開発計画を策定し、大都市近郊としての機能を受け持ち、工業開発を主軸とした発展を期待し、その時代に即応してきました。

その後、経済の高度成長がもたらしたひずみの是正を図るため、昭和43年に昭和50年を目標年次とする第2次奈良県新総合開発計画を策定し、土地利用計画の策定とその方向づけ、公害防止条例の制定と施行、水需給の長期見通しとその対応策をはじめ、自然環境保全条例の制定施行等、緑地の保全、県営上・下水道の着工等に取り組むとともに産業基盤の整備、社会福祉事業等それぞれの事業を実施してきました。

昭和48年には、人間生活優先、環境重視の対策をさらに充実強化すること等を柱に、目標年次を昭和60年とする県長期基本計画（第3次）を策定し、古都保存特別地区の公有化、大気汚染測定局の整備等の環境の保全、大和川上流流域下水道、大淵池公園等都市公園の整備等、

生活・産業基盤の整備、高等学校の新設等教育環境の整備及び県立奈良病院の開設等医療の確保等、各般にわたる施策を積極的に推進してきました。

その後、さらに自然環境の保全と良好な居住環境の確保、公害の防止等に力をそそぐことを主眼として、昭和51年度には、長期的な展望に立った将来の適正人口の検討を行いました。その結果に基づき、さきに策定した第3次計画の目標人口169万人を143万人に変更しました。

さらに、昭和52年度には、適正将来人口の新たな設定に伴い、第3次計画の基本的方向は堅持しながら修正を行い、昭和53年に県長期基本計画（第3次）〔修正計画〕を策定しました。

その後、21世紀を展望しながら、美しい自然環境のもとで、健康で豊かな家庭生活を築きつつ平和で楽しい社会生活を共にし、世界各国とも直結した奈良県づくりの指針となる計画を策定するため、昭和59年に経済の繁栄をめざした「県長期基本構想」を策定しました。

さらに、その後の社会経済情勢の変化・進展や構想・計画段階であった事業の具体化も進んできたため、県長期基本構想の基本的な方向は堅持しつつも新たな施策を展開していくため「県長期基本構想（修正）」を策定しました。

さらに「県新総合計画」が近々策定されます。

県民の歌

萩原 四朗 作詞
福島 正二 作編曲

一、吉野のさくら 畝傍山
歴史を染めて 陽がのぼる
大和の国に 住む欲びを
肩よせて誇る 奈良県民――
おお！ 頼母し

三、近畿の要め 文化の府
花咲く明日に 夢かけて
大和の国に 溢れる幸を
たからかに謳う 奈良県民――
おお！ 美し

二、山路を拓き 野を起し
豊かに実る 秋を呼ぶ
大和の国は いま健やかに
眉あげて進む 奈良県民――
おお！ 遅し

県民音頭

木村 龍平 作詞
長津 義司 作編曲

一、ハアー一つ二つ花びら重ね
アヨイヨイヨイ
夢を重ねた八重桜
アヨイシヨ
花の上から大仏さまが
話しかけます呼んでます ソレ
ホンニヨシヨシあおによし
みんないっしょに
ソーレヨイヨイ来て踊れ

三、ハアー三つ四つ都の跡を
アヨイヨイヨイ
今にのこした奈良平野
アヨイシヨ
紅葉狩りした大宮人の
烏帽子姿が目に浮かぶ ソレ
ホンニヨシヨシあおによし
みんないっしょに
ソーレヨイヨイ来て踊れ

二、ハアー二つ三つときれいな峯が
アヨイヨイヨイ
顔をそろえた雲の上
アヨイシヨ
奥の山やまみどりに晴れて
すそは吉野の花模様 ソレ
ホンニヨシヨシあおによし
みんないっしょに
ソーレヨイヨイ来て踊れ

四、ハアー四つ五つと五重の塔の
アヨイヨイヨイ
屋根はかがやく空たかく
アヨイシヨ
大和よいとこ世界に誇る
古い文化の宝庫 ソレ
ホンニヨシヨシあおによし
みんないっしょに
ソーレヨイヨイ来て踊れ

奈良県勢要覧 平成7年版 1995

発行日 : 平成7年3月31日

定価 2,000円(税込)

編集 : 奈良県企画部統計課

発行 : 奈良県統計協会

奈良市法蓮町757

TEL (0742) 22-1101

(内線 2615・2616)

印刷 : 明新印刷株式会社

奈良市南京終町3丁目464番地

TEL 0742-63-0661
